

藤岡小だより

令和 5 年 11 月 24 日発行

学校教育目標 『**楠のように大きく香り高き人に**』

重点目標「**自分で、自分から 正しく判断して行動しよう**」

【本年度の全国学力学習状況調査の結果から】

1 藤岡小の結果概要

	全国・県の平均を上回る	全国・県の平均を下回る	今後の対応
国語	☆言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字を正しく使う、送り仮名に注意して文の中で正しく使う。） ☆必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえることができる。 ☆目的や意図に応じ、話の内容を捉え話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ☆日常よく使われる敬語を理解している。	★原因と結果など、情報と情報について理解している。 ★目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 ★目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる。 ★情報と情報との関係付の仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ★文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。	◎子どもたちの学習に対する「まとめ」「ふり返し」を大切に授業改善を進めていく。 ◎読み書きのつまづきを支援するため、MIM、コグトレを継続実施していく。 ◎国語科では、複数の資料から適切な情報を取り出し、それらに関係付けながら自分の考えを具体的に書く学習を意図的に設定していく。 ◎国語科だけでなく、他教科等でも、多様な情報に触れて自分の考えを具体的に表現する機会を多く設定していく。
算数	☆（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。 ☆加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。 ☆（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる。	★台形の意味や性質について理解している。 ★示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。 ★示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。	◎算数科では、基本図形の面積の求積だけではなく、活用できるような課題の時間を多く設定していく。その際、求積に使う辺を色分けしたり、何が決まれば面積が決まるかを言語化したりする活動を取り入れていく。 ◎式の意味や答えの意味をふり返ることで、何を求めたのかを明らかにすることを大切にしていく。
学習状況	☆人が困っているときは、進んで助けている。 ☆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（100%） ☆人の役に立つ人間になりたいと思う。 ☆5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。 ☆国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる。	★毎日同じくらいの時刻に寝ている。 ★将来の夢や目標を持っている。 ★家で自分で計画を立てて勉強をしている。 ★新聞を読んでいる。 ★学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。 ★授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。	◎家庭と連携しながら、子どもたちのよりよい生活習慣の定着を図っていく。 ◎子どもたちが主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、学習内容等を自分で選択したり、判断したりできるような取組を進める。 ◎これまで同様、授業の「ふり返し」を大切にして、子どもたちに学びや成長への気付きを促していく。さらに、自己の学習への充実感や学習意欲の向上へつなげていく。

今後も、藤岡小学校の重点目標「自分で、自分から、正しく判断して行動しよう」に向けて教育活動を推進していきます。

子どもたちが教育を通して幸せや満足感を感じる気持ちを育むことができるよう、教育活動全体を通して「わかった」、「できた」、「うれしい」と幸福を感じられる、一人一人に寄り添った指導を継続していきます。